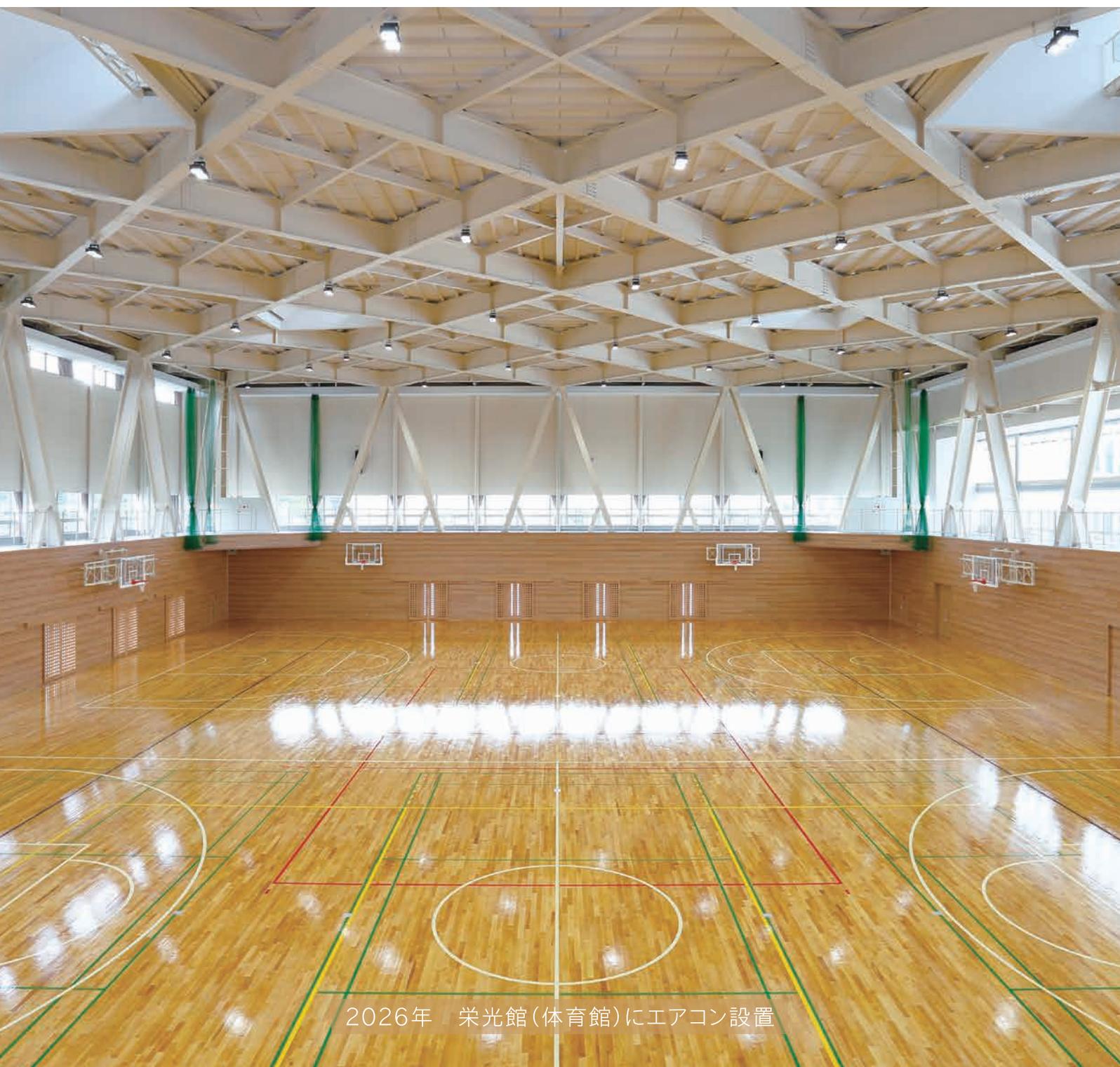


中部学院大学報

PAULOWNIA⁺

ポローニア プラス

CHUBUGAKUIN DIGEST



2026年 栄光館(体育館)にエアコン設置



1

関キャンパス 「たのしみん祭」

各務原キャンパス 「学びの森フェスティバル」

2025年度より関キャンパスの「大学祭」&「いきいき地域!! たのしみん祭」の名称を「たのしみん祭」に統一しました。両キャンパスとも地域の方々にもご参加いただき、大勢の人でにぎわいました。



2



3



4



5



PAULOWNIAは
中部学院のシンボルである「桐」の英語表記。
かつては大学祭を「ポーニア祭」と呼び、
学生に親しまれてきました。

発行 | 中部学院大学広報室

〈表紙写真〉

今年の夏、関キャンパス栄光館(体育館)にエアコンを設置します。



6



7



9



8

2026 Vol.55

Contents

- P 04 GRADUATES SPECIAL FEATURE 01
卒業生座談会
- P 06 GRADUATES SPECIAL FEATURE 02
恩師からのメッセージ
- P 08 SPECIAL FEATURE
キラッと輝く中部学院生
- P 09 学長賞・同窓会長賞
- P 10 CLUB & CIRCLE
- P 12 Lab Journal
- P 14 TOPICS

<写真>

①②⑥各務原キャンパス
「学びの森」ステージ発表、ブース、教室会場発表
③④⑤⑦⑧⑨関キャンパス
「たのしみん祭」体育館（吹奏楽部）
ステージ発表、ハンドベルクワイア



人間福祉学部
人間福祉学科

岩井 崇紘さん
(いらい・たかひろ)



教育学部
子ども教育学科

神谷 楓さん
(かみや・かえで)



看護リハビリテーション学部
理学療法学科

澤中 七星さん
(さわなか・ななせ)

卒業生座談会

大学・短大生活を終えて、この春社会に飛び立つ卒業生の皆さんに、学生生活の思い出や、就職に向けての抱負、後輩の皆さんへのメッセージを語っていただきました。

—大学生活を振り返って、頑張ってきたことや印象に残っていることは何ですか。

神谷 私が大学生活で頑張ったことは、大学の授業と採用試験で、教育学部は小中コースと幼保コースに分かれるのですが、私は小中コースに所属しながらも小学校と幼稚園の免許を取得する同学年でも9名しかいない特殊なコースを選択しました。そのため時間割は、二つのコースを照らし合わせながら自分で予定を把握しなければならないし、1年生の冬には実習があるため、実習の書類を完成する期間にも容赦なく小中コースでの授業の課題やテストが入ってくるというとても大変な思いをしていたことが記憶に残っています。

教員採用試験では、二度の試験対策が自分の中で辛かったと感じました。1次は筆記、2次は面接と小論文ですが、筆記と面接は大変苦労しました。これらすべて、自分一人の力では何もできなかったと思います。仲間がいて、頼れる先生方がいて、そして自分の向上心があったこそだと思っており、大学生活の出会い全てが私の思い出です。

西尾 大学生活の中で特に頑張ったのは「実習」です。実際に子どもと関わることで、授業だけでは見えてこない保育者の動きや子どもとの関わり方を体験的に学ぶことができました。子どもの様子を感じ取りながら声をかけたり、その場で環境を調整したりすることは、難しかったですが、5回の実習を経験していくことで、自分なりに考えて行動ができるようになったと思います。また、毎日の記録を書くことは大変でしたが、子どもの姿を丁寧に振り返ることで、自分がどんな関わり方をしていたか、翌日の課題を客観的に見つめることができました。実習はとても大変でつらいことも多かったですが、それ以上に学ぶことが多く、保育者を目指す上で自信にもつながる大切な経験となりました。

粥川 歯科助手実習です。実習では、器具の名前を覚えたり、先生の動きに合わせて準備をしたりと、はじめて経験することばかりで戸惑うこともありましたが、回数を重ねるうちに流れがわかって

きて、少しずつできることが増えていきました。他にも、患者さんの年齢によって話し方や声の大きさなどのコミュニケーションの取り方も学ぶことができました。

沼田 3年生からのゼミの活動で、障がいのある子どもたちに運動を教えたり、高齢者向けの運動教室を開催していく中で、様々な方と関わったことです。また、消防官を目指すため、3年生の春から公務員試験対策講座に参加し、一緒に目指す友達と共に勉強に励んできました。

高橋 大学生活では、特に看護実習が印象に残っています。講義で得た知識を実践に結び付ける難しさに向かい合いながら、患者さんとの関わりを通して「寄り添う看護」の基礎となる考え方を育むことができました。また、共に支え合いながら努力してきた仲間や、丁寧に指導くださった先生方の存在は、私にとって大きな力となりました。

岩井 CVK(中部学院大学ボランティアfor倉知)の活動で、地域の皆様のニーズをキャッチし、大学生としてできることを行ってきました。これらの経験を通して、地域のつながりの大切さやニーズ実現の大変さを学びました。住民の皆様の「ありがとう」の声が印象に残っています。

澤中 単位取得や国家試験合格、そして就職後のキャリアのために、日々の勉強やレポート制作に力を入れて取り組んできました。教科科目やレポート提出の数が多く、複数の課題に苦労することもありましたが、仲間とともに努力した時間は楽しく有意義で、その苦労を共に乗り越えてきた仲間の存在は一生の宝物だと感じています。こうした経験を通して、知識や技術をしっかりと身に付けることができたと思います。

—就職に向けた抱負

神谷 私は、一人ひとりに応じた教育を目指した小学校の教員になりたいと思っています。座学で学んだことのみならず、教育実習や今まで頑張った経験などを子どもたちに話したり、教員同士で協力したり、子どものためにすべきことを考えたりすることで、よりよい授業、よりよい学校になるように最善を尽くしていきたいと思っています。高校時代の恩師が私にくださった「経験したからこそ共感できることがある」という言葉を胸に、精一杯取り組みたいです。

澤中 弟が理学療法士にリハビリを受けている様子を見て、その姿に憧れたことが理学療法士を志したきっかけです。私も、憧れた理学療法士のように患者様に笑顔や希望を届けられる存在になりたいと考えています。そのために、これまでの授業や実習での経験を生かし、コミュニケーションを大切にしながら、最新の情報を積極的に収集する姿勢を忘れずに取り組んでいきます。今後も精一杯力を発揮し、成長を続けられるようにしていきたいです。

西尾 小さなころからの夢だった幼稚園教諭になれることがとても嬉しく、楽しみである気持ちと、うまくできるのかなという不安があります。私は、子どもたちの気持ちに寄りそえる人になりたいと思っています。まだまだ学ぶことは多いけれど、現場に出てからも、一つひとつの経験を大事にしながら、自分なりに成長していけたらいいなと思っています。焦らず、自分のペースで、周りの先生方からたくさん学びながら、子どもたちからも保護者からも信頼してもらえる保育者を目指したいです。

粥川 授業で学んだ電話対応や話し方、伝わりやすい言い回しなどを実践し、基本的な業務を丁寧に覚え、患者さんに安心していただけるような対応ができるようにしたいです。医療事務は直接患者さんと関わる時間も多いため、一つひとつのコミュニケーションを大切にしながら、経験を積んで成長していきたいと考えています。

沼田 安定していて、人の役に立てる仕事がしたいと考えたので、消防官を目指しました。大学で、障がいのある子どもから高齢者まで様々な方と関わってきた経験を活かし、消防官としても地域の皆様の年代を問わず積極的に関わっていきたくたいです。また、身体能力に自信があるのでそれを活かせるレスキュー隊を目指したいと考えています。

高橋 私は、地域医療を支える病院で働くにあたり、幅広い年代・多様な背景を持つ患者さんと向き合うことになると思います。その中で、患者さんの「いつもの生活」を守るために、確実な判断力と柔軟な対応力を身に付けていきたいと考えています。地域の一員として信頼される看護師を目指し、日々成長していきたいです。

—後輩に向けたメッセージ

粥川 2年間は本当にあっという間でしたが、その中で挑戦したことや努力したことは必ず自分の力になります。自分のペースで無理なく

進みながら、ぜひ充実した学生生活を送ってください。

沼田 3年生から選べるゼミでは、それぞれのゼミに特徴があり、そこで何が経験できるかは変わってきます。様々な体験や経験ができるゼミを選ぶことがおすすめです。しかし、何よりも自分から何かを得たいという気持ちが大切であり、それが就職において必ず役にたつと考えています。公務員になるには勉強も必須ですが、ぜひ「経験する」ということにも時間を使ってみてください。

高橋 看護学科は、大変なことに目が向けられがちですが、学んだ知識や技術が人のために役立つ、とてもやりがいのある学びができる学科だと思います。真剣に学び、時には友人と笑い合いながら、充実した大学生活を送ってください。

神谷 大学生だから経験できることはたくさんあります。やりたいことができる一方、時間は有限です。「あの時やっていたら…」と後悔しないようにすべきことを計画し、考えて過ごすよと思います。私は、海外留学に行けたら、もっと視野が広がったのかなと後悔も残っています。ぜひ、今を大切に、出会う人に感謝と自分の行動に責任をもって充実した大学生活を送ってください。

岩井 大学生活は自分でさまざまな選択肢を選び取って、学びを深めて行くことができます。みなさんのより良い学びや素敵な学びを見つけてください。残りの学生生活が有意義なものになることを願っています。

西尾 大学生活の中では、授業や実習の準備で大変だなと思う日もあるけれど、その分だけ気づけることや成長できることがたくさんあり、自分の今後に繋がります。私は、実習ではうまくいなくて落ち込むこともあったけれど、子どもと過ごす中で自然と笑顔になれたり、友達に話を聞いてもらって気持ちが軽くなったり、そんな小さな出来事が支えになっていました。

澤中 専門的な分野で、まったく新しい知識に触れるので最初は戸惑いや苦労もありましたが、その分やりがいがあり、理解が深まるほど面白さを感じられる分野だと思っています。困ったら先輩や先生を頼ってください。助けになってくれます。また、大学生活という限られた時間だからこそ、勉強やアルバイトに励みつつ、いっぱい遊んで楽しんでください。充実した大学生活を送れるよう心から応援しています。



看護リハビリテーション学部
看護学科

高橋 ころろさん
(たかはし・ころろ)



スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科

沼田 翔馬さん
(ぬまた・しょうま)



短期大学部
幼児教育学科

西尾 妃花梨さん
(にしお・ひかり)



短期大学部
社会福祉学科

粥川 結奈さん
(かゆかわ・ゆいな)

恩師からのメッセージ

Look at Horizon

大学学長 本島 修



皆さん、卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今、皆さんは登山にたとえるなら、「卒業」という目標の頂上に立っています。険しい道のりを乗り越えてきた学生生活の4年を振り返り、大きな達成感を味わっていることでしょう。それは誠に素晴らしいことです。しかし、頂上に立った今だからこそ、視線の先には次の山が見えているはず。「次はあそこだ」と新たな挑戦に向かう気持ちを持つことが、これからの人生において何より大切です。これが、私が皆さんに贈りたい言葉、“Look at Horizon”です。

大学は、勉学と鍛錬を通して、社会で自立し生き抜く力を身に付ける場です。多くの皆さんはエッセンシャルワーカーとして社会に踏み出し、仲間と協力しながら成長していくことでしょう。

本学で培った学術と技芸を糧に、中部学院大学の卒業生としての誇りと自信を胸に、次のピークへ果敢に挑戦してください。改めて、卒業おめでとうございます。

卒業生に贈る言葉

短期大学部学長 片桐 史恵



ご卒業おめでとうございます。晴れの門出を心よりお祝い申し上げます。

社会の在り方そのものが大きく変化している時代だからこそ、本学のモットー「生きる、を学ぶ」を心に刻んでください。そして、これからも「生きる」を学び続けていただきたいと思います。自分自身が幸せに生きるために、そして他者の幸せのためにはどうしたら良いのか考え続け、そして具体的に行動することです。

卒業後、多くの正解の無い問いに出合い戸惑うかもしれませんが、それらに向き合う力を皆さんは養ってきました。たくましく道を切り開いていてもらいたいと思います。

これから新しい世界に飛び込む皆さんですが、中部学院大学短期大学部で大切にしてきた笑顔と挨拶を実践し続けてください。笑顔と挨拶は自分と周りに勇気と力を与えることができます。皆さんが祝福の恵みの光に包まれますように祈ります。

卒業は新たな始まりの時

大学・短期大学部副学長 片桐 多恵子



ご卒業、おめでとうございます。これからの人生は、学生時代以上に「山あり、谷あり」です。「喜怒哀楽」は人生において誰にでもやってきます。楽しいことと共に、予想外の苦難も経験しながら人生を歩み、誰もが人間として成長していきます。

新しく人生をスタートする皆さんに、次の言葉を贈ります。「ワイングラス・グラスにワインが、“もう半分しか無い”と悲観的に思うか“まだ半分ある”と楽観的に思うか。」どのような人生を送るのかは、自分自身の考え方、生き方にかかっています

神様が、どんな時にも全てのの人に光を注いでいてくださいます。光を仰いで明るく、たくましく人生を歩んでください。

出合いを大切に

人間福祉学部長 飯尾 良英

ご卒業おめでとうございます。学生時代の一番の思い出と言えば「友と過ごした時間」ではないでしょうか。授業やゼミ、実習、部活動、アルバイト、スクールバスのなか等々、いろんな友と出合い、一緒に笑ったこと、語り合ったこと、経験したことなど様々な思い出があります。学生時代の出合いを大切に、そして新たな環境で待っている出合いにも期待を寄せてください。「一人は好き、孤独は嫌い。それがわたし!」某生命保険会社の広告文です。人との出合いが人生を豊かにしてくれます。私たち教員も皆さんとの出合いをいつまでも大切にしていきます。ご健康とご多幸をお祈りいたします。



これからの世界を担っていく世代に

看護リハビリテーション学部長 大森 正英

ご卒業おめでとうございます。今、世界情勢はますます混迷を深め、地震、風水害などが頻発し、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の蔓延も続いています。皆さんはこのような大変な状況下で世の中に出て行こうとしています。正に困難な幕開けです。しかし、日本はこうした苦難を何度も乗り越えてきた国です。皆さんは特に貴重な体験をした世代として、これからの世の中を担っていく使命があるのです。大学で身に付けたことが着実に実を結んでいくことを願い、ご健闘を祈っています。



はじめの一步から

短期大学部幼児教育学科長 杉山 祐子

ご卒業おめでとうございます。自分の将来をしっかりとイメージし、2年間仲間と共に学んだ短大生活は、後になればなるほど、大切さが増してくると思います。入学当初の「はじめの一步」を合言葉に、皆さんが努力し、ときには挫折しながらも前を向く姿は、きっとあなたの自信となることでしょう。社会人になって、自分の幸せを叶えるとともに、周りの人を幸せにすることに力を尽くしてください。幼児教育学科のモットーである「笑顔で挨拶」から始めてください。



学び続ける人でありたい

教育学部長 小林 直樹

ご卒業おめでとうございます。学部教員一同心よりお祝いを申し上げます。振り返ると、あつという間の4年間だったのでないでしょうか。

「教職入門」の授業でも取り上げましたが、美濃国岩村藩出身で高名な儒学者である佐藤一斎は、『言志四録』の中で、「少にして学べば、壮にして成すことあり。壮にして学べば、老いて衰えず。老いて学べば、死して朽ちず。」と述べています。より良い自分を目指す人は、豊かな人生を歩むものだと言っているのです。大学での学びを礎にして、さらに様々なことに挑戦してください。皆さんそれぞれが良き人生を歩まれますよう祈っております。



新たな出合いを大切に

スポーツ健康科学科長 中川 雅人

ご卒業おめでとうございます。入学から4年間、皆さんは数多くの学びと経験を積み重ねてこられました。初めて大学に足を踏み入れた際には、新しい環境や人間関係への期待と不安があったことと思います。しかし現在では、大学生活のすべてがかけがえのないものとなっていることでしょう。本学での学びを修了した後は、新しい環境や人との出合いが待っています。大学生活同様、最初は戸惑うかもしれませんが、それらの出合いが今後の成長の糧となるはずですよ。どうぞ、勇気を持って新しい環境へ踏み出してください。皆さんの健闘を心よりお祈りいたします。



新しい出合いを自分の力に

短期大学部社会福祉学科長 吉川 杉生

卒業おめでとうございます。授業や実習で学んだこと、大切な友人との出合いや人と人のつながりなど、皆さんの記憶に残る出合いや出来事は何かあったでしょうか。

毎年この時期には、皆さんの人生の中で「あの2年間があってよかった」と思える時間をつくれたのかを考えます。皆さんも感じているように、楽しい経験だけが自分を成長させるとは限らないですね。苦しいこと、辛いことにどう向き合ったのかが自分を育てると言うことと気楽すぎるかもしれませんが、それを力に変える力をつけて欲しいと思います。

皆さんのこれからの仕事は、そのことにチャレンジしていくことだと思います。人を支える仕事の中で自分も成長していく皆さんを、心から応援しています。



SPECIAL FEATURE キラッと輝く中部学院生

今回は、2024年度、2025年度にわたり、二科展の写真部門で入賞された子ども教育学科1年の池田 遥(いけだ はるか)さんを紹介します。



「片思う心」 2025年度 二科展

2024年度は、関商工高等学校の写真部に所属して、第108回二科展、第72回二科会写真部展のYoung部門において、奨励賞を受賞されました。

そして、翌年の2025年度も二科会の写真部展の同じ部門で、協賛会社賞 エイエムエス賞に入賞されました。



池田 遥さん(2026年1月 各務原キャンパスにて)

池田さんによると、「片思う心」の作品は、頭の中で片思いの男性のことを考えている自分を表現したもので、シルエットは池田さん本人で、二人の男性が写っていますが、1人だけが明るく表現されています。

池田さんは、教員に求められる英語にも興味があり、3月のタイ研修に参加予定で、大学生活の中で、他にも海外旅行に行けたらと思っているそうです。

将来の夢は、子どもたちの写真を撮って、保護者の方に見てもらいたいそうです。

保護者との人間関係が難しいと言われる中で、教員と保護者の絆が結べるものと期待しています。

2025年度 学長賞 受賞者一覧

【区分】1:成績・人格識見 2:研究 3:課外活動 4:ボランティア 5:その他

大 学

■ 寺澤 紗良 (スポーツ健康科4年) 区分3

2025年 4月 令和7年度シニアナショナルチーム強化選手選考会にて選出
5月 第61回東日本大学空手道選手権大会 女子団体組手 初優勝(主将)
7月 第69回全日本学生空手道選手権大会 女子個人組手 優勝(2連覇)
10月 第79回国民スポーツ大会空手道競技 組手団体 5位(寺澤は全勝) 岐阜県代表
11月 第69回全日本大学空手道選手権大会 女子団体組手 初優勝(主将)
12月 第53回全日本空手道選手権大会 女子組手 出場

2026年 2月 第4回全日本空手道体重別選手権大会 女子組手-68kg 出場
人物も優れ、上記の実績から学長賞を受賞するとともに、開学以来初となる4年連続の受賞を称え、『学長賞特別顕彰』として表彰する。

■ 佐村 心 (人間福祉4年) 区分1

社会福祉士、介護福祉士の2つの資格取得を目指し、学びを進めてきた。成績も非常に優秀である。また、学生活動では、手話サークルのメンバーとして活動を行ってきた。老人保健施設への就職を決め、将来は福祉分野で活躍することが期待される学生である。

■ 松田 理央 (子ども教育4年) 区分1,3,4,5

4年間、目的意識をもって勉学に励み、素晴らしい学業成績を取った。また、各務原市の「ららら学習室」、各務原国際協会のKIAフェスティバル、グアテマラ中学生とのオンライン英語指導などの様々なボランティア活動にも積極的に参加するとともに、カナダ短期語学留学、オーストラリアのインクルーシブ教育推進小学校インターンシップ、各務原市まちづくりミーティングにも加わるなどして、大学の学びを実践につなげてきた。将来は、特別支援教育やインクルーシブ教育の専門的知識を備えた教員になろうと、愛知教育大学教職大学院への進学を決めている。一方、人柄も申し分なく、沉着冷静でリーダー性に富み、仲間からも慕われている。将来、現場教員を率いる立場の職に就くことも十分期待できる将来性豊かな優秀な学生である。

■ 澤中 七星 (理学療法4年) 区分1

入学以来たゆまぬ努力を重ね、学年トップの極めて優秀な学業成績を取っている。学科内の企画運営においては、学生間の意見を調整する卓越したリーダーシップを発揮し、高い協調性にも富んでいる。総合臨床実習においても、主体的かつ計画的に学修を深める誠実な姿勢は、学外の指導者からも高く評価されていた。加えて、その真摯で責任感の強い人柄は、教員・学生から厚い信頼を得ており、模範的な学生である。

■ 空野 寛奈 (看護4年) 区分1

高い目標意識をもち、毎日の授業内容の復習など積極的に学業に取り組んできた。保健師コースにも進み、大学4年間常に上位の成績を取った。戴冠式では代表として「誓いの言葉」を述べ、看護師を志すものとしての責任と覚悟を力強く表明した。また、課外活動では、ベトナム研修に参加して異文化交流を深めたり、ピブリオバトルサークル(BBC)部長として活躍し、岐阜市のケーブルテレビ局と図書館が制作する番組『わたしのポップ』に出演し、自身が選んだ一冊、朝井リョウの小説『正欲』を取り上げ、その魅力を自作の“ポップ”を通して紹介した。性格は、穏やかで友人からの信頼も厚い学生である。

■ 佐田 敦哉 (スポーツ健康科4年) 区分1

日頃から学業に熱心に取り組め、全科目において常に高い成績を取っており、学科内トップであった。授業の出席態度も常に良好で、課題・レポートにおいては自らの考察を深めた内容を提出し、学習意欲・理解力の両面で高い評価を受けている。また、卒業研究においては、自身の競技経験を生かし、ハンドボールの投げ動作に関する研究に積極的に取り組んでおり、スポーツを科学的に検討する視点をもっており、学業成績・学びに向かう姿勢ともに優秀な学生である。

■ 荒木 柚乃 (子ども教育2年) 区分3

2025年 5月 第61回東日本大学空手道選手権大会 女子団体組手 優勝
7月 第69回全日本学生空手道選手権大会 女子個人組手 3位
11月 第69回全日本大学空手道選手権大会 女子団体組手 優勝
インカレでの個人3位に加え、主将の寺澤と並び本学の東日本及びインカレ団体優勝の功績が多大である。

■ 益田 航 (スポーツ健康科3年) 区分3

2025年 11月 文部科学大臣杯争奪第44回日本学生ゴルフ王座決定戦 優勝
インカレ個人戦での優勝。本学男子としては初の快挙となる。

■ 空手道部(団体) 区分3

2025年 5月 第61回東日本大学空手道選手権大会 女子団体組手 優勝(初)
11月 第69回全日本大学空手道選手権大会 女子団体組手 優勝(初)
12月 第4回全日本空手道団体形選手権大会 女子団体形 3位

東日本インカレの中部圏の大学の優勝は初。インカレ団体での中部圏からの優勝も初の快挙。

■ 吹奏楽部(団体) 区分3

2025年 9月 第80回東海吹奏楽コンクール 金賞(全国大会出場権を得る)
10月 第73回全日本吹奏楽コンクール(新潟県) 出場

岐阜県勢として大学部門の東海代表として選出されたのは、本学が初となる。日常の活動でもチャリティ、ボランティア演奏や地域の中学校等への指導など精力的な活動を実践している。

■ 剣道部(団体) 区分3

【個人戦男女】

第68回東海学生・女子学生剣道新人選手権大会 優勝、準優勝、3位 2名
第73回全日本学生剣道選手権大会に5名出場(男子4名女子1名:過去最多人数)

【団体戦男女】

第72回東海学生剣道優勝大会 優勝
第73回全日本学生剣道優勝大会出場 5年連続5回目

第48回東海女子学生剣道優勝大会 準優勝

第44回全日本女子学生剣道優勝大会出場 2回目

創部して8年目、過去最高の成績を取った。

短期大学部

■ 桑下 もえり(幼児教育2年) 区分1

学業に真摯に取り組め、計画的かつ着実に学習を進めた結果、極めて高い成績を取った。授業では、自らの意見を丁寧に伝え、交流を進め、他学生の理解に貢献した。ゼミナール活動においては、仲間の意見を収集・整理し、主体的な運営と学習効果の向上に寄与した。また、ボランティア活動では、参加者に対して礼儀正しく親しみをもって関わる姿が見られるなど、幼児教育に携わる者としてふさわしい態度を備えている学生である。

■ 福井 ひかり(社会福祉2年) 区分1

入学してから常に成績は上位であり、履修科目すべてが優秀であった。何事にも真面目に取り組め、地道に努力を続けることができ、オープンキャンパスや大学関連行事についても積極的に協力貢献している。ゼミでは、多様な立場の学生の意見を耳を傾け、間に入り調整するなど活動を進めるうえで欠かせない存在である。自分の考えを押しつけることなく、他者の意見を尊重しながら全体の方向性をまとめることができる力を有しており、チームワークが重要となる介護福祉の現場でも活躍が期待される学生である。

2025年度 同窓会長賞 受賞者一覧

【区分】1:学生会活動 2:大学の名誉・社会貢献 3:スポーツ・文化 4:その他

大 学

■ 伊藤 迅 (人間福祉4年) 区分2,3

学業成績は優秀で授業の出席状況もよい。また、オープンキャンパスの学生スタッフとして継続的に取り組み、中心的な存在であった。手話サークルでは、卒業生・入学式での手話通訳を行い、ボランティアサークルではイベントを企画し、実施している。また、ポッチャの岐阜県代表選手として全国障害者スポーツ大会で優秀な成績を残し、地域イベント等でポッチャを通した障害者スポーツの周知・啓発にも取り組んでいる学生である。

■ 石井 千尋 (子ども教育4年) 区分1,2

学生会の各務原キャンパス代表として、積極的に活動を推進してきた。特に学びの森フェスティバルでは、全体の取りまとめ役として運営を行い、成功を取った。オープンキャンパスに積極的に参加し、コース説明のインタビュアーを担うなど学生募集にも貢献している。クラブ活動(各務原軽音楽部)では主要メンバーとして、卒業生と在校生をつなぐ役割を果たしている。また、各務原市の機能別消防団に所属し、地域貢献を行っている。卒業後は岐阜県内で保育職として就職し、同窓会活動の活性化にも大いに期待できる学生である。

■ 上片野 友紀 (子ども教育4年) 区分1,2

学生会のメンバーとして仲間と共に多くの企画の運営に携わってきた。特に今年度の「学びの森フェスティバル」では、屋外ステージの背面ボード制作において、祭テーマを多数の手形スタンプで表現するなど、独創的なアイデアで環境づくりに貢献した。また、2年次の頃よりオープンキャンパスの学生スタッフとして積極的に参加し、常に親しみやすい雰囲気や高校生に接するなど、学生募集に貢献した。加えて、各務原市の機能別消防団や若者選挙サポーター「めぐる」、各務原市まちづくりミーティング等の地域活動にも意欲的に参加するなど、多くの場面で社会貢献に励んでいる。学業成績においても学年上位で優秀であると同時に、軽音楽サークルの一員として定期的に演奏活動を行うなど、文武両道にも秀でている。卒業後は幼稚園教諭として、大学での経験を踏まえ、地域での社会貢献を行うことが期待される学生である。

■ 甲斐 亜朱姫 (理学療法4年) 区分1

本人は、非常に優秀な学業成績を収めるのみならず、学内外の活動へ主体的に取り組んだ。オープンキャンパスでは、学生スタッフのリーダーとして企画運営を牽引し、本学の魅力発信に大きく貢献した。また、ゼミ活動の一環として地域の介護予防サロンに参加し、転倒予防体操の指導などを通じて地域住民と積極的に交流するなど、大学と地域の連携推進においても重要な役割を担った。常に周囲への気配りを忘れず、協調性と責任感に富む人柄が高く評価される学生である。

■ 石鳥 穂乃香 (看護4年) 区分4

入学時から真面目に学修に取り組み、優秀な成績を保っている。授業態度も良く、演習や実習では事前準備を十分にしていたうえで臨んでいた。国家試験対策学習にも早い時期から計画的に取り組んでおり、模擬試験の成績も常に上位にある。社会貢献活動への取り組みも熱心で、マラソン救護ボランティア等で積極的に活動した。また大学のオープンキャンパスでは所属ゼミである母性看護学の体験講座で、参加者へ丁寧な説明対応を行い、事後アンケートで参加者から多くの賞賛の言葉をいただいた。

■ 渡邊 彩 (スポーツ健康科4年) 区分4

本人は、学業成績が優秀だけでなく、女子バレーボール部でも選手として4年間活躍した。保健体育科教員の免許取得に向けて努力し、ゼミでの地域貢献活動においても、小学生と積極的に関わっていた。部活動では、プレイヤーとしてだけでなく、アキレス腱断裂を経験した際、プレイできなくとも選手をサポートする立場からチームに貢献しようとしていた姿が印象的であった。

■ 矢富 達章 (スポーツ健康科4年) 区分3

強豪のチームがひしめく東海1部リーグにおいて、日頃より練習に励み研鑽を積み、他の大学の留学生選手を差し置き、優秀な成績を取った。活動に真摯に取り組む姿は他の学生の範となった。2025年度東海学生バスケットボールリーグ戦1部リーグにおいて得点王を受賞。

■ 水口 雄太 (子ども教育4年) 区分3

コロナ禍の影響により、委員会には上級生という見本が存在しない状況の中、本人は2年次から2年間にわたり大学祭実行委員長を務めた。委員のメンバー数が少なく、委員長への負担は非常に大きいものであったが、学生課との連携を密に取り、誠実に責任感をもって取り組んだ結果、大学祭を成功に導くことができた。この2年間、委員長として大学祭の企画・運営に大きく寄与した実績は顕著であり、その功績を高く評価するものである。

■ 河村 一慶 (看護3年) 区分3

1・2年次は、先輩や委員のメンバーが少ない中で活動を続けてきた。3年次には委員長に就任し、多くの新生入生が入部したのを受けて、委員会の組織づくりに尽力した。見本となる前例がない状況でリーダーシップを発揮し、新しい体制を構築するとともに、下級生への積極的な声掛けを行い、結果、たのしみん祭の企画・運営の中核を担い、イベント成功に導いた。反省会まで責任をもって実施し、委員長としての役割を全うした。

■ 藤田 仁平 (スポーツ健康科4年) 区分3

2年次:東海選手権3位、全日本学生選手権、東西対抗試合出場

3年次:東海選手権3位、全日本学生選手権、東西対抗試合出場

4年次:東海選手権3位、全日本学生選手権、東西対抗試合優秀選手賞

1年次から主力選手として活躍。3年連続で東海選手権ベスト4入りを果たし、全日本学生選手権、全日本東西対抗試合に3年連続で出場。4年次には、優秀選手賞を獲得した。本学の剣道部の躍進に中心選手として、4年次は主将として大いに貢献した。

■ 石原 共晟 (スポーツ健康科4年) 区分3

3年次:東海選手権3位、全日本学生選手権、東西対抗試合出場

4年次:東海選手権16位、全日本学生選手権出場、全国都道府県対抗剣道大会出場(岐阜県代表)

1年次から主力選手として活躍。全日本学生選手権には、3・4年次の2年連続で出場。また、予選会を突破し岐阜県代表として全日本都道府県対抗剣道優勝大会に出場した。本学の剣道部の躍進に、中心選手として、4年次は副主将として大いに貢献した。

短期大学部

■ ピョーヤイーモン カイン (社会福祉2年) 区分2,4

「第24回岐阜県内外外国人留学生日本語弁論大会」において、県内5校から6か国9名が出場する中で、素晴らしいスピーチを披露し、見事最優秀賞を受賞した。また、学業においても、成績優秀でリーダーとしてクラスをまとめ、様々な活動に積極的に取り組んでおり、他の留学生の模範となっている。



優勝報告

空手道部 2025年度後期全国大会の成果

第69回全日本大学空手道選手権大会
 (2025年11月16日(日)日本武道館)
 【女子団体組手】優勝：寺澤紗良、伊熊遥花、齊田乃愛、荒木柚乃
 廣瀬空、横濱来幸
 【女子団体形】7位：江口紗颯、前田菜、橋本怜奈
 第4回全日本空手道団体形選手権大会
 (2025年12月13日(土)東京武道館 14日(日)日本武道館)
 【女子団体形】3位：江口紗颯、前田菜、橋本怜奈
 【男子団体形】5位：野村飛翔、若林寛斗、金城匠杜、田川凜



ゴルフ部 文部科学大臣杯争奪 第44回日本学生ゴルフ王座決定戦 沖縄大会優勝

2025年11月25～28日、沖縄県かねひで喜瀬カントリークラブで行われた試合において、益田 航(ますだわたる・スポーツ健康科学科3年)が優勝しました。96名が参加した予選ラウンドで上位16名に入り、マッチプレー(一回戦・二回戦・準決勝・決勝)において全勝しました。

なお、優勝した益田は、2026年度第79回日本学生ゴルフ選手権競技(岐阜県三甲ゴルフ倶楽部谷汲コース)の参加資格を得ました。



岐阜県庁にて



吹奏楽部 第73回全日本吹奏楽コンクール初出場

2025年10月25日(土)に、新潟市のりゅーとびあ新潟市民芸術文化会館で開催された「第73回全日本吹奏楽コンクール」に出場。

創部以来初、そして岐阜県の大学として初めての全国大会出場を果たしました。大学の部では全国から15団体が出場し、銅賞を受賞しました。





剣道部

男子団体東海大会制覇

2025年9月15日(土)スカイホール豊田において、東海学生剣道優勝大会、東海女子学生剣道優勝大会が開催され、剣道部が創部されてから8年、悲願だった東海大会制覇を達成することができました。

男子団体戦は、4年生2名の勝負強さが際立ち、準々決勝、準決勝、決勝と全て逆転勝ちで初優勝。

女子団体戦は、2年生チームで戦い、初の決勝戦進出を果たし準優勝することができました。

野球部

明治神宮大会出場をかけた三連盟王座代表決定戦惜敗

硬式野球部は、秋季岐阜県リーグで優勝し東海大会へ出場しました。

東海大会では、準決勝で静岡産業大学(静岡)に4-3で勝利し、決勝戦では皇学館大学(三重)に8-6で勝利し2季ぶり15回目の優勝を果たしました。

秋季リーグでは、明治神宮大会出場をかけた三連盟(東海地区・北陸・愛知)王座決定戦に挑みましたが、準決勝で金沢学院大学(北陸)に2-3で敗れ、明治神宮大会出場は叶いませんでした。



女子バレーボール部

東海大学バレーボール連盟 女子1部リーグを維持

女子バレーボール部は、2025年11月に岐阜県リーグにおいて優勝しました。

また、33チームが所属する東海大学バレーボール連盟(静岡・愛知・岐阜・三重)の秋リーグ終了時点で、1部リーグ8チーム内を維持しています。





中部学院大学短期大学部 社会福祉学科 准教授 海老 諭香

研究テーマ／ヒューマンエラーを踏まえた介護現場のリスクマネジメント

目的／本研究の目的は、介護の場におけるインシデントやアクシデントの要因と対策を整理し、リスクマネジメントの理論と実践を通じて安全な介護環境の構築に資する知見を得ることである。

以下は、執筆した「臨床老年看護」(2025年3月30日)日経研出版のリスクマネジメントの特集記事をまとめたものである。

1. リスクマネジメントとは

リスクマネジメントとは、「将来起こり得る危険(リスク)」を管理し、影響を最小限に抑えるための組織的な取り組みである。介護現場においては、利用者の転倒や誤薬、感染などのリスクを把握し、予防策を講じることが不可欠である。そのためにはPDCAサイクルを活用し、職員間の連携や環境の整備を行うことが求められる。リスクマネジメントは、介護の質を向上させるのみならず、利用者と職員の双方の信頼を築くための基盤ともなる。

2. インシデントとアクシデント

事故には、実害のない「インシデント」と、影響を伴う「アクシデント」がある。医療分野では影響度分類が導入されているが、介護分野においては統一された基準が存在せず、施設ごとに対応が多様である。インシデントを正確に記録・分析することにより、アクシデントの予防が可能となる。

3. インシデントおよびアクシデントが発生する要因

事故の背景には、「人」「物」「環境」といった要因が複合的に関係している。それぞれの要因の例を図1に示した。教育・訓練や用具の点検、チーム内コミュニケーションの強化が事故防止に重要である。



図1 インシデントおよびアクシデントが発生する要因の例

4. ヒヤリ・ハットが大きな事故につながるかも、という考え方ーハイネリッヒの法則とスイスチーズモデルー

「ハイネリッヒの法則」とは、1件の重大事故の背景に29件の軽微な事故、300件のヒヤリ・ハットが存在するという経験則であり、小

さな異変を見逃さない姿勢が重要とされる。図2は、介護場面における事例とハイネリッヒの法則を図に示したものである。

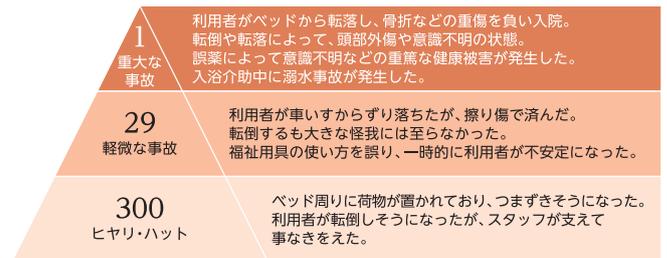


図2 ハイネリッヒの法則 介護場面における事例
H.W.ハイネリッヒ著、総合安全工学研究所訳、ハイネリッヒ産業災害防止論、海文堂出版、均82、より引用、改変

また、「スイスチーズモデル」は、複数の防護策の隙間が重なった時に事故が起こるという考え方で、組織的な安全対策の必要性を示している。図3は、介護場面における事例とスイスチーズモデルを図に示したものである。

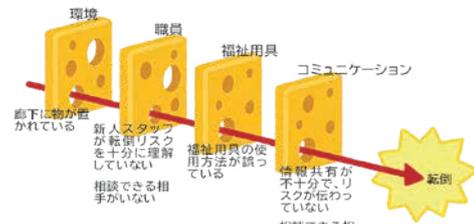


図3 スイスチーズモデル 介護場面における事例(転倒)
James Reason: Human error mode15 and manaagement. British MedicalJourna1320 (2000),より引用、改変

5. 人はエラーをする生き物

人間である以上ヒューマンエラーは避けられないのが現実である。そのため、個人の注意力のみに依存するのではなく、「何でも言える雰囲気」を備えた組織文化が重要である。エラーが発生した際には個人を責めるのではなく、その背景にある原因を共に考える姿勢が、再発防止と組織の成長につながる。

6. 利用者本位であるために

リスクを回避するあまり、利用者の自由を過度に制限すると、QOL(生活の質)が損なわれるおそれがある。たとえば、転倒リスクを懸念して外出を禁止することは、身体機能や精神面の悪化を招く可能性があり、安全と自立のバランスを取ることが重要である。リスクと利益を総合的に考慮し、利用者の自己決定を尊重した支援が求められる。

リスクマネジメントは、予防だけでなく、事故発生時の迅速かつ適切な対応も重要である。そのためには、対応マニュアルの整備や継続的な教育を通じて、職員一人ひとりが自信を持って行動できる体制を構築することが必要である。

<参考文献>

- H.W. Heinrich's paper, "Relation of Accident Statistics to Industrial Accident Prevention," can be found in the Proceedings of the Casualty Actuarial Society for the years. (1929).
- James Reason. Human error: models and management. (2000)
- James Reason (著)十亀洋 (翻訳)(2014). ヒューマンエラー 海文堂出版.
- John Medina. Brain Rules: 12 Principles for Surviving and Thriving at Work, Home, and School(2011)



中部学院大学 看護リハビリテーション学部 看護学科 准教授 林 久美子
研究テーマ／ホルモン治療を受けるトランスジェンダー当事者の
セルフマネジメント尺度の開発 [科研費:25K13744]

目的／ホルモン治療を受けるトランスジェンダー当事者のセルフマネジメント尺度を開発し、
信頼性・妥当性を検証する

2025年度より、日本学術振興会科学研究費助成事業に採択され「ホルモン治療を受けるトランスジェンダー当事者のセルフマネジメント尺度の開発」をテーマに研究に取り組んでおります。これまで、2020年よりトランスジェンダーを含む性的マイノリティの方々への医療機関の対応に関する調査などを行い、医師・看護師・事務職員間の3者間で比較した結果、性的マイノリティに対する肯定的態度や知識に差があること、性的マイノリティ当事者と接した経験のある医師・看護師・事務職員は、経験のない者より肯定的な態度が高く、否定的な態度が低いことが示されました。

さらに、2023年に実施した精神科看護師を対象にした調査¹⁾で、個人輸入したホルモン剤を使用しているトランスジェンダーの方が入院した際に、看護師は医師や薬剤師に、ホルモン療法を継続して行いたいという患者の希望を伝え、精神科治療中にもホルモン療法が継続できるように支援している実態が明らかとなり、本研究のきっかけとなりました。

トランスジェンダーとは、「出生時に割り当てられた性別と、自分の認識している性別が一致していない人」のことです²⁾。我が国では、性同一性障害とされていましたが、ICD-11 (International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems: 国際疾病分類) では性別不³⁾合、DSM-5 (Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders: 精神疾患の診断・統計マニュアル) では性別違和となりました³⁾。また、出生時に割り当てられた性が男性の場合はAMAB (Assigned Male At Birth)、出生時に割り当てられた性が女性の場合には、AFAB (Assigned Female At Birth) と表現する場合があります。

トランスジェンダーの中には、身体への違和感が強く身体的治療を希望される場合があります。

我が国では、1997年に『性同一性障害に関する診断と治療のガイドライン』が示され、2024年に最新版である『性別不³⁾合に関する診断と治療のガイドライン (第5版)』へと改正されました⁴⁾。このガイドラインでは、医療を必要とする性別不³⁾合の方の診断基準や診断過程を示し、精神科治療 (精神的ケアと実生活経験に対するサポート) と身体的治療 (ホルモン療法、乳房切除、性別適合手術) の方法が記載されています。

トランスジェンダーに対するホルモン療法は、AMABの方にはエストロゲン (女性ホルモン) 製剤、AFABの方にはアンドロゲン (男性ホルモン) 製剤の投与が行われます。ホルモン療法には血栓症など重篤な病態を招く副作用のほか、妊孕性の低下や喪失などもあり、ホルモン療法開始前に、十分な理解を促すべき作用も含まれています。そのため、トランスジェンダーにとり、用法・用量を守り、副作用症状の有無に注意を

払うなどのセルフマネジメント (自己管理) 能力の習得が課題となります。

一方で、トランスジェンダーの方に対するホルモン治療は保険適用がなく自費診療であることや、専門に診療できる医師や医療機関の少なさから、個人輸入などでホルモン製剤を入手し使用しているトランスジェンダーの存在も報告されています。

このような状況におかれながらも、トランスジェンダーの健康を守るセルフマネジメントに関する調査は国内外共に非常に少なく、具体的な看護が明示されておりません。そこで、安全にホルモン治療を行っていくために、『ホルモン治療を受けるトランスジェンダー当事者のセルフマネジメント尺度の開発』を目指すこととしました。現在は、トランスジェンダーに必要なセルフマネジメント能力と、その能力を習得できるように支援する看護のあり方を明らかにするために、トランスジェンダー当事者と看護師を対象にインタビュー調査を行っています。



トランスジェンダーフラッグ
青・ピンク・白の3色

<引用文献>

- 1) Kumiko Hayashi, Keiko Kimura, Hideo Kobiki, Noriko Mochizuki (2023) Nursing issues perceived by psychiatric nurses working with transgender patients in Japan, INC (International Nursing Conference).
- 2) 神谷悠一、松岡宗嗣 (2020) LGBTとハラスメント、集英社
- 3) 針間克己 (2019) 性別違和・性別不³⁾合へ、緑風出版
- 4) 公益社団法人 日本精神神経学会、日本性別不³⁾合学会 (2024) 性別不³⁾合に関する診断と治療のガイドライン
https://www.jspn.or.jp/uploads/uploads/files/activity/gid_guideline_no5.pdf

古田肇(前岐阜県知事)氏の特別講義開催



今年度、本学の客員教授に就任された古田肇氏の特別講義が、2025年12月4日(木)の3限に行われました。

古田教授は、ご自身の歩まれた大学生時代を、講義に参加する学生に語りながら、そこから歩まれた出来事や、知事として活躍された20年間について、思いを語っていただきました。

清流の国ぎふ、新型コロナウイルス感染症対策における岐阜モデルなどを振り返って、「静かに行く者は健やかに行く、健やかに行く者は遠くまで行く」という言葉を残されました。

病院職員の研究支援と学生の研修に関して、岐阜清流病院と協定締結



右から松本和病院長と本島修学長



大森正英看護リハビリテーション学部長

2025年12月11日(木)、岐阜清流病院において、大学が病院職員の理学療法に関する研究支援を行うことや、病院で理学療法士を目指す学生の研修を行うことについて、松本和病院長と本島修学長により協定が締結されました。本島学長は「これまでも多くの学生を指導していただいた。今後は、病院職員の研究支援の充実も図っていきたい。」と伝えられました。

2025年度シティカレッジ各務原特別講演会

2025年11月29日(土)に各務原キャンパスにおいて、渡部陽一(戦場カメラマン)氏をお招きして、世界からのメッセージ～平和と命の大切さ～の講演会を行いました。



戦後80年を迎えましたが、世界のいたるところで紛争や戦争が起きており、尊い命が奪われ続けている中で、戦場のカメラマンとして、ウクライナやイラクなどを取材された講師から、戦争の悲惨な体験をお聞きして、今を生きる私たちが、平和の中で生きていることを感じる時間となりました。



この講演会は、各務原市と中部学院大学が実行委員会を組織して、入場無料で行っており、今回も508人から申し込みがあり、抽選で約320人の皆様にご参加いただきました。

ラ・ルーラ・ラボの活動(ボランティア)

ラ・ルーラ・ラボは、各務原キャンパスにある子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」を拠点に、現在48名の学生で活動しているボランティアサークルです。

普段は、授業の空きコマや昼休みの時間に、「ラ・ルーラ」を訪れる親子との触れ合いが活動の中心で、「ラ・ルーラ」の夏祭りや運動会などの行事にも企画から参加しています。

また、所属する学生の中から、岐阜ゾンタクラブの下部組織「中部学院大学ゴールデンZクラブ」の一員として、チャリティーイベントや大会(R7年は博多や徳島開催)への参加も行っています。

*ゾンタクラブは、女性と子どもの地位向上と社会奉仕を目的とした、ビジネスや専門職の女性リーダーによる国際的な奉仕団体(国際ゾンタ)が運営するクラブです。



片桐史恵短期大学学長と学院生(2025年12月 チャリティーの集いにて)



2026年1月 岐阜ゾンタクラブ定例会での年間活動報告

2026年度 中部学院大学 年間行事予定 (2026.1.5現在)

4月 2日(木) 入学式 関市文化会館
 4月 7日(火) 前期授業開始日 ※学科により異なる
 5月14日(木) 開学記念日
 6月 6日(土) 後援会総会・保護者懇談会 関キャンパス(予定)
 7月27日(月)～7月31日(金) 前期定期試験日 ※学科により異なる
 9月14日(月) 後期授業開始日 ※学科により異なる
 10月17日(土) たのしみん祭(大学祭)・ホームカミングデー 関キャンパス
 11月 3日(火・文化の日) 学びの森フェスティバル 各務原キャンパス
 11月14日(土) 中部学院全国手話スピーチコンテスト 各務原キャンパス

11月16日(月) クリスマスツリー点灯式 関キャンパス
 12月21日(月) クリスマス礼拝・祝会 関キャンパス
 12月22日(火) 年末授業最終日
 1月 4日(月) 年始授業開始日
 1月16日(土)・17日(日) 大学入学共通テスト 関キャンパス
 1月18日(月)～1月22日(金) 後期定期試験日 ※学科により異なる
 3月19日(金) 卒業礼拝・卒業式リハーサル
 3月20日(土) 卒業式 長良川国際会議場



キャンパス内完全禁煙宣言

健康増進法第25条の定めにより本学は2006年4月1日より
キャンパス内すべてを禁煙とすることを宣言します。
※キャンパス内とは、駐車場および周辺文教地帯を含む。

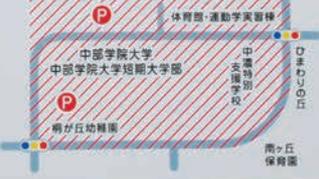
本学では2006年度より「キャンパス内での禁煙」だけでなく、「ゴミ等のポイ捨て」や
「キャンパス内でのゴミの放置」などの行為を禁止します。



キャンパス内での
ゴミ等のポイ捨て
放置禁止



大学敷地内
全面禁煙
(研究室や事務室も
全て禁煙です。)



禁煙宣言エリア

Chubu Gakuin University & College

中部学院大学 中部学院大学短期大学部



中部学院大学
同短期大学部

関キャンパス 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
各務原キャンパス 〒504-0837 岐阜県各務原市那加翔田町30-1 TEL 058-375-3600

- [大学院] 人間福祉学研究所 修士課程 博士課程(後期)
- [大学] 人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース) 通信教育部
教育学部 子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース/幼稚園教諭・保育士コース)
看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康領域/保健体育科教育領域/障がい者スポーツ領域/スポーツマネジメント領域)
- [短期大学部] 幼児教育学科(あそびすとコース/障がい児支援コース/子育て支援コース)
社会福祉学科(介護福祉コース/ビジネスデザインコース/医療事務コース)